

## 地域に関する教材開発を目指した総合的な学習の時間の意識調査

### — 柏木小学校と金田小学校の比較 —

渋川良夫 尾上町立金田小学校

#### 要旨

総合的な学習の時間に関して、柏木小学校と金田小学校の児童と教師の意識調査結果に、学校間の違いがみられた。柏木小学校ではテーマ毎に縦割り学習を行っているのに対して、金田小学校は、地域を中心に学年毎にテーマ学習に取り組んでいる。その違いが児童の興味・関心の違いとなって現れた。教師は、柏木小学校では表現力など情報に関する力が身についたと考えているが、金田小学校は問題発見、調べ、発表など様々な力がついたと考えており、違いがみられた。両校とも総合的な学習の時間で学習したい(させたい)と思っていることは、児童と教師で異なっていることが認められた。金田小学校の児童のふりかえりカードの結果から、素材探しが地域の中で主体的に追求され、協力性も高まっていることがわかった。

2つの学校とも自ら課題を見つけ、学ぶなど「生きる力」を育成するために地域教材が役立つことが認められた。

【キーワード】 総合的な学習の時間 教材開発 児童の興味・関心

#### 1 はじめに

総合的な学習の時間(以下総合的な学習)は、児童の興味・関心等に基づく学習などの過程を通して、自ら課題を見付け、自ら学び自ら考え、問題を解決するなどの「生きる力」を育てることや、学び方やものの考え方を身に付け問題解決に向けての主体的、創造的な態度を育成すること、自己の生き方について考えることができるようにすることをねらいとしている。総合的な学習は児童の興味・関心を大切にしながら展開することが望ましいので、その実態を把握し、その結果を活用して発展的な学習に導いていくための教材開発が大切と思われる。

教材開発とは教育活動において、一定の目的にしたがって選ばれた教育内容を学習者に教える際の材料になるものを開発することである。総合的な学習の実践が進むにつれて、教材についての受けとめかたが柔らかになり、身近な素材を教材化する試みが行われるようになった。北俊夫<sup>1)</sup>は、総合的な学習の「地域らしさ」「地域ならではのものを」を教材化することを提示している。「生きる力」が身近にある地域の素材を教材化することで効果的に育まれ、児童が地域社会に対する理解を深め、地域社会の一員としての自覚を培うことができると考えたからである。

平賀町立柏木小学校(以下柏木小)では、地域の伝統芸能、尾上町立金田小学校(以下金田小)は、町にある名所やリサイクル活動などをそれぞれ教材として学習し開発に取り組んでいる。

本研究では、総合的な学習の時間について児童の興味・関心および地域のよさや特色を生かした教材開発の面から、2つの小学校の児童の意識調査を比較して考察をすすめることとしたい。そのためには、第一に児童が総合的な学習の時間について、どのように思っているかをアンケートを基にしながら興味・関心の面を分析をする。第二には、教師が総合的な学習の時間にどのような資質や能力を身に付けさせたいのか、ということと教師が児童の実態をどうとらえているのかについてアンケートの回答を分析する。第三には、児童の自己評価カード等を分析することによって、地域の特色やよさを生かした教材の開発のあり方について

\* 岐阜大学教授。前文部科学省教科調査官。

も考察したい。

## 2 総合的な学習の時間に関する実態調査

### 2-1 児童の意識調査から

2000年、2002年度に行った総合的な学習の時間のアンケート調査の結果から検討をする。

(1) 対象

2000年 対象：平賀町立柏木小学校（126名--3学年、4学年、5学年、6学年）  
 <3学年はアンケートの項目1、2のみ>

2002年 対象：尾上町立金田小学校（89名--4学年、5学年、6学年）

(2) 調査期日と方法

(ア) 2000年12月・・・「総合学習」についてのアンケートを実施（柏木小学校）

(イ) 2002年6月・・・「総合学習」についてのアンケートを実施（金田小学校）

(3) アンケートの内容

項目1では、「総合学習がすきですか」、項目2では、「その理由」（自由記述）、項目3では「あなたが総合学習でできるようになったと思うのは、どんなことですか」（複数回答）、項目4では、「総合学習で、実際にやれたことはどれですか」（複数回答）、項目5では、「これからどんなことをやってみたいですか」（複数回答）の調査結果を検討する。資料1参照。

(4) 総合学習のアンケートの結果と考察

○質問項目1 「総合学習がすきですか」

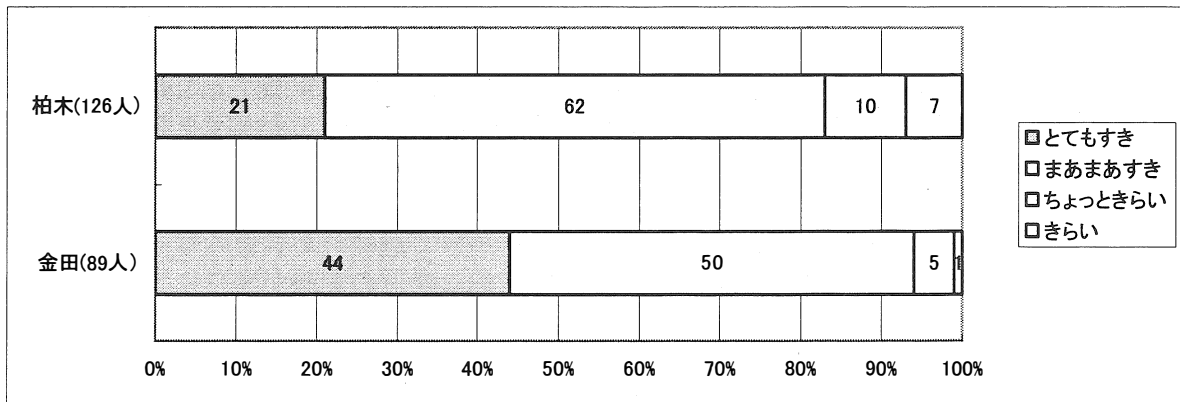


図1 児童に対する「総合学習がすきですか」のアンケート結果の比較

図1から、「とてもすき」「まあまあすき」は、柏木小が83%、金田小が94%で金田小学校が10ポイント高かった。「とてもすき」だけを比べても、柏木小が21%、金田小が44%と金田小が23ポイント高かった。

この理由として、柏木小の総合的な学習の時間は、「川について」「平賀町について」などのテーマ学習と全校での縦割り班による活動を平行して行っているが、とくに高学年において全校での縦割り活動を好まないことがあげられる。班をまとめるのに苦勞をし、興味や関心を失っている児童も見られている。

金田小では、3年は「尾上町探検」、4年は「リサイクル大作戦」、5年は「尾上町の米を調べよう」、6年は「ふるさと再発見」であり、学年ごとにテーマを設定したことが興味や関心の程度が高い結果として表れたと思われる。

「ちょっときらい」と記入した児童も、柏木小で10%、金田小で5%見られる。また、

「きれい」と明確に答えている児童も両校それぞれ7%、1%見られた。これらの児童の意欲を喚起することが大切になってくる。

○質問項目2 「総合学習がすきかどうかの理由」

表1 総合学習がすきかどうかの理由の自由記述による比較  
柏木小学校

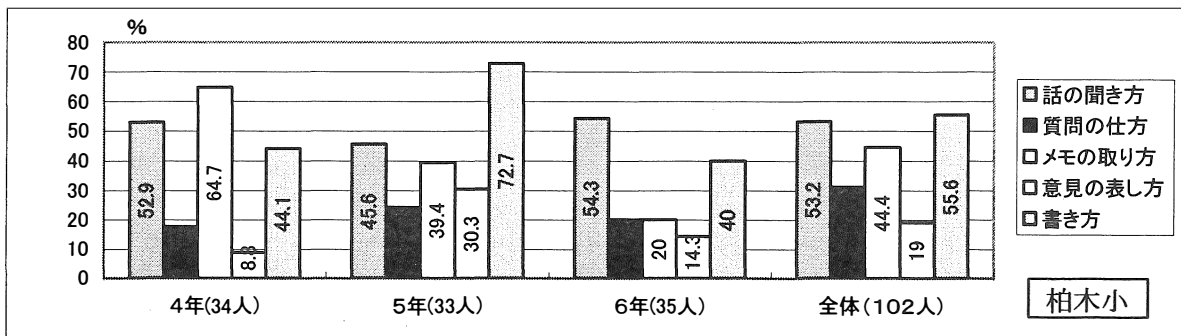
とてもすき・まあまあすき	ちょっときれい・きれい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本にしたり、模造紙に書いたりするのがすきだから</li> <li>・ 調べるのがすきだから (3名)</li> <li>・ 発表したり、メモしたりするのがおもしろいから</li> <li>・ 自分でいろいろなことが考えられるから (2名)</li> <li>・ みんなでやるのが楽しい</li> <li>・ コンピュータでかいたりするのが楽しいから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめたりするのがきれいだから</li> <li>・ 質問を新聞に書いたりするから</li> <li>・ 書くのがめんどくさいから</li> <li>・ 調べるのは好きだけど、発表がきれいだから</li> <li>・ みんなさわいでまとまらないから</li> <li>・ みんなと計画を立てたり、みんなの前で話すのがきれいだから</li> <li>・ やりたくないものがいっぱいでてくるから</li> </ul>

金田小学校

とてもすき・まあまあすき	ちょっときれい・きれい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマを決めるのが楽しい</li> <li>・ まわりのことがわかる</li> <li>・ 町を探検できる</li> <li>・ どこかへ行くのが楽しい (2)</li> <li>・ 調べるのがすき (3)</li> <li>・ 発表が上手になった</li> <li>・ インターネットができるのが楽しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞を書くのが苦手</li> <li>・ メモがめんどくさい</li> <li>・ 調べたりするのがいや</li> </ul>

総合学習がすきな理由を自由記述から抽出して比較したのが表1である。この表からわかるように「発表ができるから好き」や「調べたりするのが好き」など、両校ともに総合的な学習のねらいに関係している事項を理由にあげている。金田小では、「町を探検できる」と「どこかへ行くのが楽しい」「まわりのことがわかる」を合わせると、4人の児童が地域的な教材に興味を示していると考えられる。柏木小では、発表をきらっている児童が2人見られるので、表現能力の向上を目指す地域教材を開発する取り組みが必要になるであろう。

○質問項目3 「総合学習でできるようになったことはどんなことか」



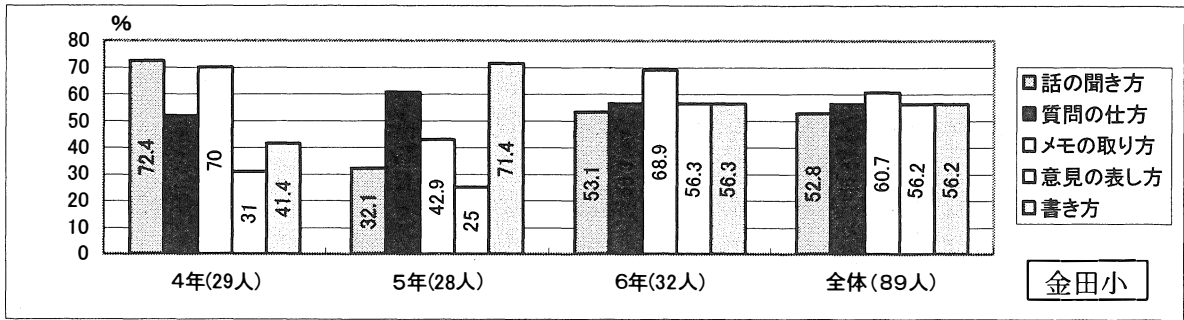


図2 児童に対する「総合学習でできるようになったこと」のアンケート結果の比較

図2から、 柏木小では、5年生の「書き方」の割合が高く72.2%であった。柏木小では活動後、自己評価を含めた新聞づくりを行っており、調べ書く活動を活発にしていることがこの理由と思われる。金田小では、「メモのとり方」が高く、4年生で70%、6年生で68.9%、全体で60.7%であった。次いで「質問の仕方」「書き方」の順で高かった。「意見の表し方」の全体は、金田小が56.2%、柏木小が19%であり、金田小が発表に優れている。

金田小の「メモのとり方」が多かったのは、近くに出かけた体験的な活動が多く、地域の教材に興味を示して取り組んだためとも考えられる。たとえば、6学年は、尾上町を中心とした地域の探検を行い史跡、文化財にふれながら、そこに関わる人と交流を深めた。5学年尾上町の米作りに、4年生はリサイクルを中心にそれぞれ地域と関わりながら活動しておりこれらの成果が表れているともいえる。

○質問項目4 「総合学習で実際にやれたこと」

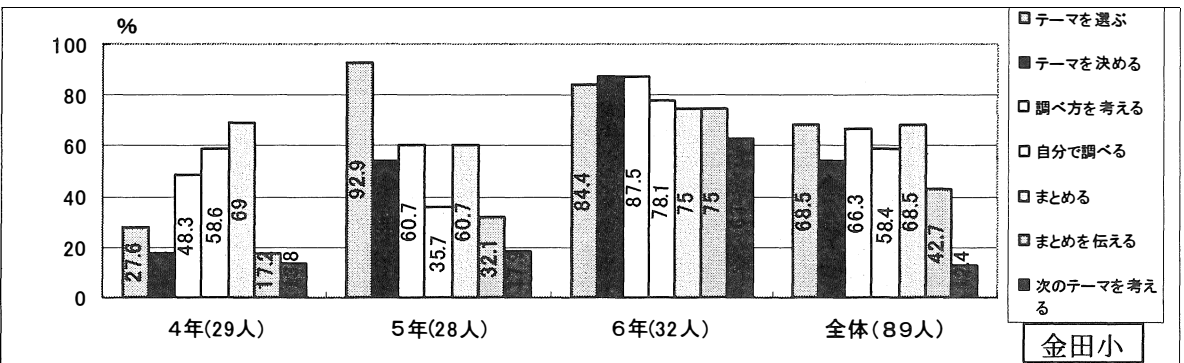
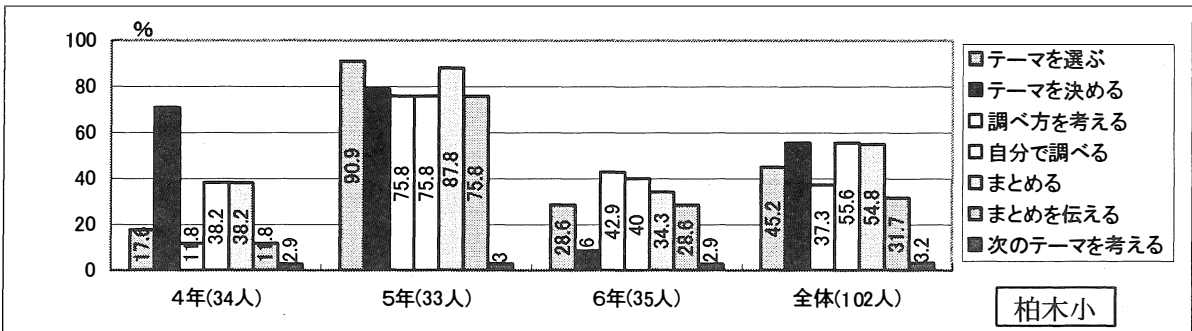


図3 児童に対する「総合学習で実際にやれたこと」のアンケート結果の比較

柏木小では、グループや個人でのテーマを決めたりする機会を多く与えているためか、「テーマを決める」の回答率が高い。特に、5年生は78.8%、4年生は72.6%と高かった。金田小では、「テーマを選ぶ」の回答率が高く、5年生で92.9%と非常に高かった。自分たちでテーマを探し出し、話し合い活動を通しながら、個人やグループでテーマを選択する時間が多く設定された結果だと思われる。また、両校とも地域の中からテーマを見つけ出すことに重点を置いており、地域の教材が有効に活用されているともいえる。

○質問項目5 「これからどんなことを総合学習でやってみたいか」

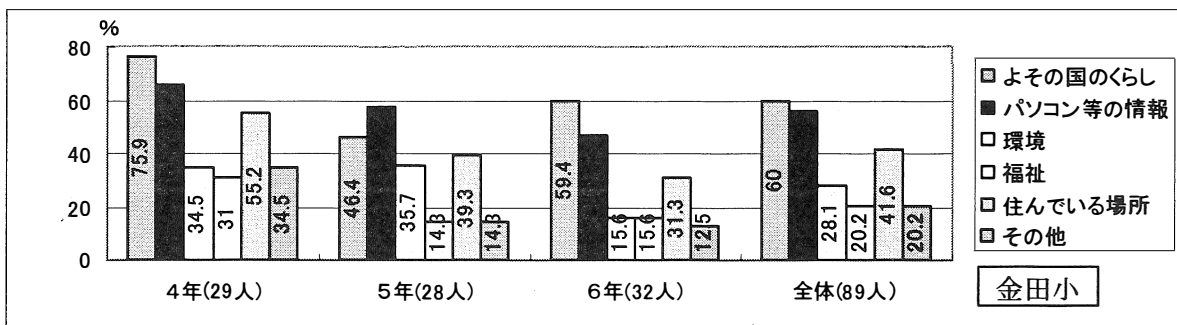
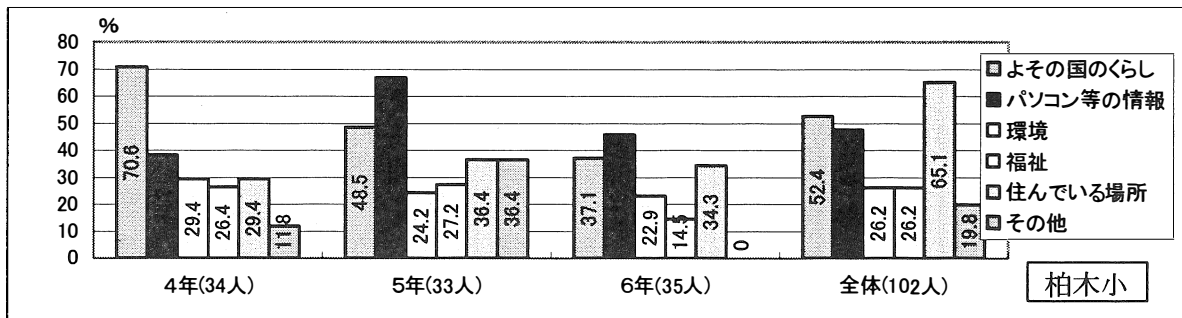


図4 児童に対する「これから総合学習でやってみたい内容」のアンケート結果の比較

柏木小では、柏木地区や平賀町など自分の「住んでいる場所」に関係のあることが、学年を通して65.1%で最も高く、自分たちの身近なところから調べてみようとする意識が強く見られる。

金田小では、全体で「よその国の暮らしなど」が60.7%と高く、金田地区や尾上町など自分の「住んでいる場所」は41.6%で柏木小と比べると低くなっている。

○質問項目6 「総合学習でその他やってみたいものの具体例」

表6 総合学習でその他やってみたいものの具体例（項目のみ）

柏木小学校

・雪	・気候	・生物の暮らし	・オーロラ	・虹	・気球	・宇宙	・川	・ゴミ
・地図	・うさぎ	・インターネット	・動物	・空	・めんどり	・昔のこと	・雨	
・富士山	・沖縄	・東京	・外国の食べ物		・山の自然			

金田小学校

・雪	・雨	・日本の歴史	・動物の暮らし	・リサイクル	・雪の形	・青森りんごと米
・自然	・日本以外の国で売っているもの	・太陽	・ゴミ	・電気やかみなり	・天然記念物	
・虫について	・ハチについて	・幼児との交流	・服のこと			

表6をみると、両校ともに「自然」、「気候」、「歴史」、「よその地域」、「情報」、「暮らし」など児童の興味や関心が相当多くの分野に広がっていることがわかる。環境教育とも関係のあるリサイクルなどを記入している児童もみられた。児童は、自分の身近なことから興味や関心が出発して、環境、国際的なものへの広がりにつながっていることが考えられた。

2-2 教師の意識調査から

2002年に行った総合的な学習の時間の調査を検討をする。

- (1) 対象 2002年10月 平賀町立柏木小学校 教職員 8名  
尾上町立金田小学校 教職員 10名

- (2) 調査期日と方法

① 2002年 11月 ……「総合的な学習」についてのアンケートを実施

- (3) アンケート内容 (資料2)

項目1では、「総合的な学習で高めたい資質や能力」について、項目2では、「総合的な学習を昨年度や今年行ってみて、どのような力が児童についてのか」を、項目3では、「児童が総合的な学習についてどのように考えているか」、「児童がこれから総合的な学習でやってみたいことは何か」についてのアンケート調査を分析検討する。項目2と3は自由記述である。

- (4) アンケートの結果と考察

○質問項目1「総合的な学習で高めたい資質や能力」

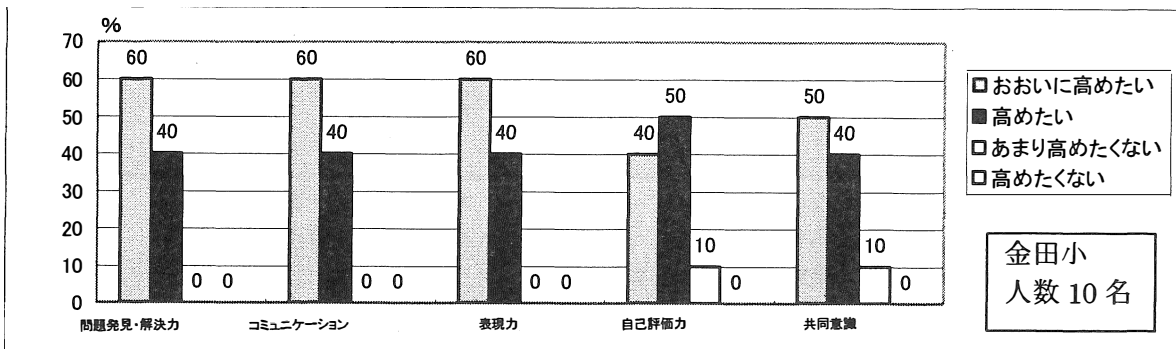
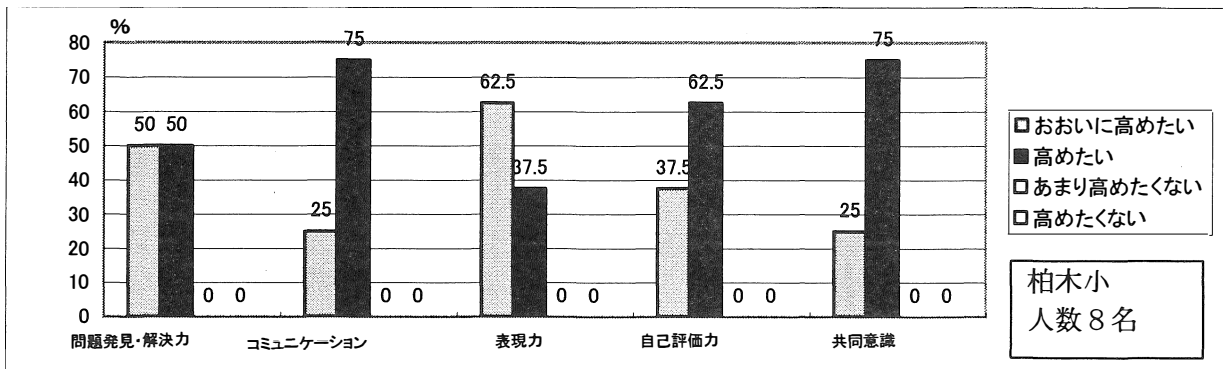


図5 教員に対する「総合的な学習で児童に高めさせたい資質や能力」のアンケート結果の比較

図5をみると、柏木小では、「おおいに高めさせたい」が40%、「高めさせたいが」60%で、この両者の回答のみであった。金田小では、「おおいに高めさせたい」54%、「高めさせたい」42%、「あまり高めさせたくない」4%となっている。2つの小学校ともに「おおいに高めさせたい」、「高めさせたい」の比率が高くなっているのは、総合的な学習に対する両校の教師の期待感の表れだと思われる。

項目ごとに見ると、柏木小では、「表現力」の「おおいに高めたい」が62.5%が高く、この項目への同校教師の期待が表れている、柏木小では表現がにがてとする児童が見られたこととも一致しており、教材の工夫が望まれる。柏木小では、「問題発見力・問題解決力」が次いで高く50%となっている。

金田小では、「問題発見力・問題解決力」、「コミュニケーション能力」、「表現力」の「おおいに高めたい」が60%で高くなっている。

アンケートの5つの項目は、総合的な学習のねらいであり、育てたい能力や資質であるので、これらを踏まえての指導が必要になる。

○質問項目2「総合的な学習を昨年度や今年行ってみて、どのような力が児童についたか」

表3 総合的な学習で教師が考える児童が身に付けた力

柏木小学校	金田小学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土の伝統工芸など地域についての知識</li> <li>・ 問題発見と問題解決する力(2)</li> <li>・ 調べ学習</li> <li>・ 調べたことをまとめる力</li> <li>・ 情報収集能力(2)</li> <li>・ 情報活用能力</li> <li>・ 表現力(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学び方</li> <li>・ 問題解決力(2)</li> <li>・ 地域に目を向けるきっかけとなり、意欲的に課題に取り組めるようになってきた(2)</li> <li>・ 探究心や追求力がついた(2)</li> <li>・ 物事を発展的にとらえる目</li> <li>・ 調査する力</li> <li>・ まとめる力。</li> <li>・ インタビューの仕方に慣れた</li> <li>・ パソコンやデジカメの使い方に慣れた</li> </ul>

表3からみると、柏木小の4人の教師が、児童が身についた力として、「調べ学習」「調べたことをまとめる力」「情報収集能力」「地域について知る力」など、情報に関することを挙げている。「表現力」2人を合わせると6人が広い意味の情報に関する力がついたと考えている。

金田小の教師は「地域目を向ける・・・」「探究心や・・・」「発展的に・・・」が合計で5人であり、児童に追求力や発展する力がついたと考えている。その他、インタビューの仕方などのスキル、調査の力などが挙げられており、金田小の教師は、児童が身に付けた力が多様であると考えている。

両校に共通することは、「問題を解決する力」や「調べる力」が身についたと考えていることである。

## ○質問項目3「児童は総合的な学習についてどのように考えているか」

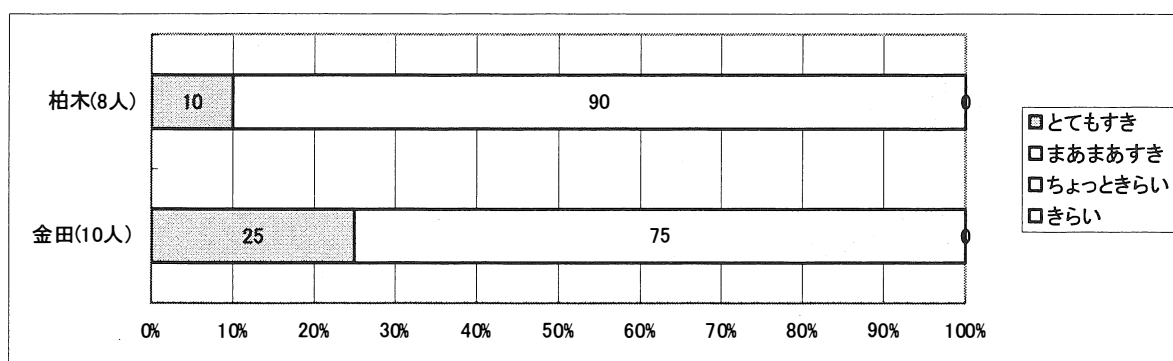


図6 教員に対する「児童は総合的な学習についてどのように考えているか」のアンケート結果の比較

柏木小では、「とても好き」が10%、「まあまあ好き」が90%である。金田小では、「とても好き」が25%、「まあまあ好き」が75%である。両校の教師とも、児童は総合的な学習を「まあまあ好き」「とても好き」と思っていて、教師の意識と前節で述べた児童の意識とが一致している。

自由記述を整理すると表4になった。両校の教師の思いに相違が見られた。

表4 教師が考えるこれからの総合的な学習で児童が学習したいこと（自由記述）

柏木小学校	金田小学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアのこと</li> <li>・ 国際理解に関すること</li> <li>・ 健康に関すること</li> <li>・ 情報教育・・・楽しめるし、インターネットなどパソコンは興味を持って取り組む子が多い(3)</li> <li>・ 英会話・・・これからの時代には必要だし、取り組ませたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 尾上町(2)</li> <li>・ 何でも体験したいと思っている。学び方の一つとして、校外学習があると考えれば有効である。</li> <li>・ 現在グループによるテーマ学習だが、個人による自分だけの追及をしたがるのではないか。</li> <li>・ 学年に応じて、教師サイドで単元の設定をしているので、大きなテーマがあれば色々出てくるのではないか。</li> <li>・ 人と関わる力（コミュニケーション）</li> <li>・ パソコン</li> </ul>

柏木小では、「とても好きである」が25%、「好きである」が75%である。金田小では、「とても好きである」が10%、「好きである」が90%である。

教師も児童が「好きである」「とても好きである」と回答していて、児童の回答とほぼ同じような結果であり、教師と児童の考えがほぼ一致している。

項目3の「児童は、これからの総合学習でどのようなことをやってみたいと考えていると思いますか」では表4のようになった。柏木小の教師は、地域のことよりも健康や国際理解・英語会話に関心があり、前節の質問事項6で示した児童の「住んでいる場所」をもっと知りたい気持ちとの間に相違が見られた。

金田小では尾上町を児童が学習してほしいと考えている教師が2名おり、校外学習を期待



する教師を合わせると地域学習は3名になる。金田小ではテーマ学習に言及している教師が2名いる。金田小の児童の学習したいことは、国際教育等であり、ここでも教師と児童の意識に乖離が見られた。

柏木小では「総合的な学習の意義まで児童が考えていないと思うのでまだそこまでいっていない」教師が1名、金田小学校にも「まだ発展途中なので考えを探るまではいっていない」教師が1名いた。

### 2-3 金田小学校児童のふりかえりカードや保護者の感想から

4学年の総合的な学習の時間「のびのびタイム」での2002年の9月から10月にかけて行った「リサイクル大作戦」の実践から分析をする。9月と比べると10月は、「リサイクル大作戦」の活動も本格的になり、深まりを見せた活動になっている。この活動は、地域の中から教材を見つけ出し、地域の人達との交流を図るものである。指導案を資料4に示す。

児童の変容を見るために、自己評価を取り入れたふりかえりカードを児童に記入させている(資料3参照)。カードの項目は、「めあて」、「主体的追求(進んで)」、「協力」、「マナー」の4項目である。評価の仕方は3段階で、◎「よくできた」、○「できた」、△「あまりよくできなかった」である。このカードは、児童が自分を評価するとともに、学級の他の人たちの良い所を探ることができるという相互評価ができる利点がある。保護者(サポート隊)の感想は、活動が活発に行われているかを見るめやすになる。

#### <ふりかえりカード>

対 象	尾上町立金田小学校	4 学年	6 4 名
調査期日	2 0 0 2 年 9 月 3 0 日 ( 月 )	2 0 0 2 年 1 0 月 3 0 日 ( 水 )	

#### <サポート隊感想カード>

対 象	尾上町立金田小学校 4 学年の保護者
調査期日	2 0 0 2 年 1 0 月 3 0 日 ( 水 )

#### (1) ふりかえりカードやサポート隊の感想カードの結果と考察

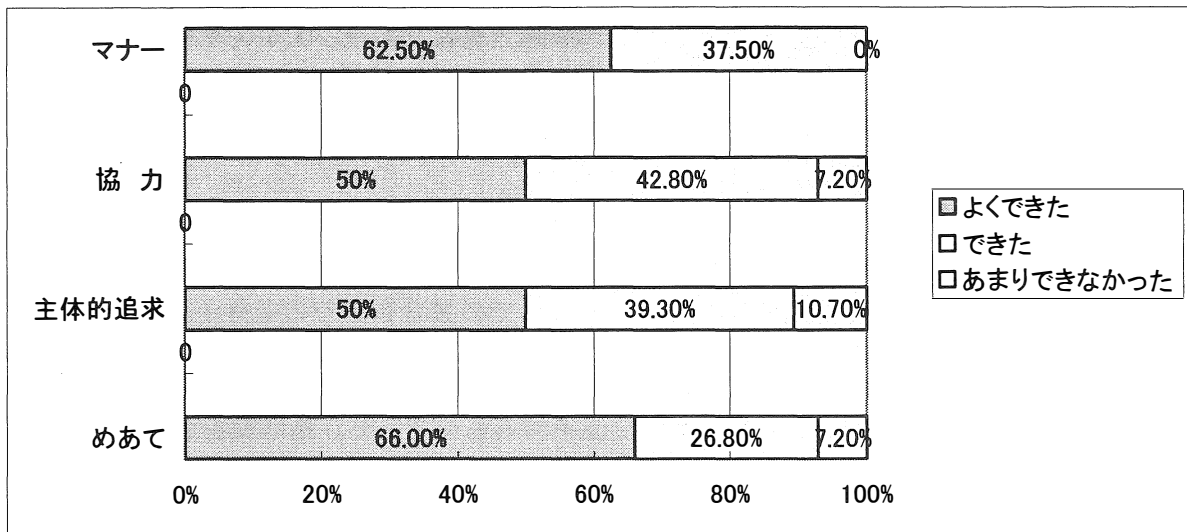
「ふりかえりカード」の項目の結果を図7に示した。

9月30日と10月30日で比較すると、「めあて」の達成については、「よくできた」「できた」が、9月で92.8%であったのが、10月では100%と高い率になっている。活動を行うことで、めあてが十分に達成されているとよい。

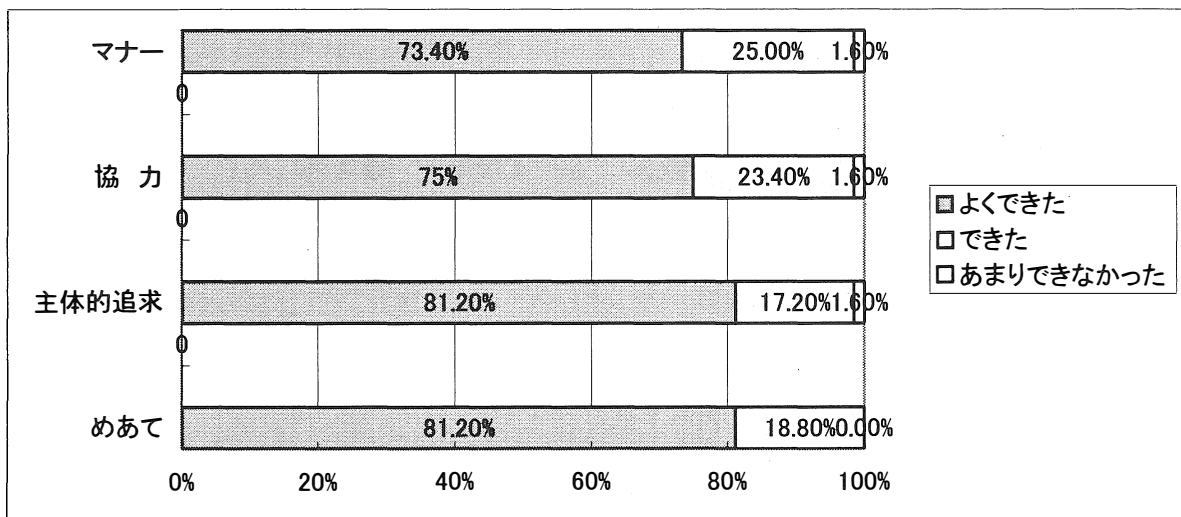
「進んで」(主体的な追求)については、9月で89.3%が10月では98.4%になっている。主体的な追究が行われつつあることが分かる。

「協力」(協力しあい自己を振り返る)では、9月で92.8%であったのが10月では98.4%と5.6ポイント増加していて、協力が高まっていることが分かる。

「マナー」(交流活動・マナーや表現力の育成)では、9月で100%であったものが、10月で98.4%とやや減少している。



9月30日実施



10月30日実施

図7 ふりかえりカード(自己評価)

児童の自己評価、相互評価を表5、表6に、サポート隊の感想カードを表7に示した。児童は、9月は、簡単な感想が多かったが、10月では、実際の自分たちの活動と結びつくような感想が多い。表6の相互評価では、10月になるとお互いのよい面を探そうということが見られている。児童が地域の中で活動することで、自分たちを具体的な活動に合わせて評価できるようになっている。地域の中で素材を探ることが主体的に追求され、協力性も高まっていることが示唆されている。

表7のサポート隊の感想では、保護者と児童の交流や児童の地域との触れ合いなどが具体的に保護者の声から伝わってきている。また、保護者の児童を見つめる暖かい眼差しや今後の期待なども記されている。

表5 児童の感想（自己評価）

## 9月30日実施

- ・発表があまりよくできなかった。 ・発表するとき大きい声で話せてよかった。
- ・「進んで」があまりできなかったので発表をがんばりたいです。
- ・話をきちんと聞いてよかった。 ・メモがあんまりできなかったので今度はがんばりたい。
- ・手をいっぱいあげることができた。 ・空缶鳥のことを聞きにいてすごいと思った。
- ・人の目を見て話が聞けたからよかった。 ・字をなぞるのがむずかしかった。

## 10月30日実施

- ・すすんであいさつをしたこと。 ・おばあちゃんがごころうさまといてくれた。
- ・理由をきちんと行って仕事をした。
- ・尾上町の人に「自分の尾上町をきれいにしたい」という気持ちをいえたのがよかった。
- ・みんなで協力してきちんとできた。 ・ピラを配ることができた。
- ・ゴミ箱をぜんぶきれいにできたので、はやく町におきたい。 ・最後までがんばれてよかった。
- ・めあてがきちんとできた。 ・ちらしをもっとくばりたかった。
- ・「ありがとうございます。」と大きな声で言えてよかった。
- ・ちょっとおしゃべりをしながらやってしまった。
- ・「寒いのにえらいね」「がんばっているね」と励ましのことばをもらった。
- ・大きな声を出してピラを配ることができた。 ・チラシをもっと配りたかった。
- ・ほとんどの人が忙しいのに書いてくれてよかった。

表6 児童の感想（相互評価）

## 9月30日実施

- ・金屋グループと尾上グループと李平Bグループがはきはきしてよかった。
- ・Aさんが少し小さい声だけどがんばった。 ・全部の班の人たちの発表の仕方がとてもいいと思います。
- ・B君が一人でがんばっていたと思います。 ・ほとんどの質問に答えることができた。
- ・アドバイスをもらい、こうすればいいんだと思った。 ・Cさんのしせいがよかった。
- ・他の組の人の声をはきはきしてとてもいいと思います。

## 10月30日実施

- ・グループでみんな、一生けんめいやっていたのでいいと思った。
- ・みんな明るいあいさつをしていた。 ・Aさんたちが一生けんめいやっていた。
- ・お互いに協力していた。 ・みんなががんばっていた。
- ・自信がないときに助けてくれました。 ・B君がどんどん活動をしていた。
- ・C君とD君がいっしょに活動してくれた。 ・E君がすばやく行動をしていた。
- ・F君が進んで家をまわっていた。

表7 サポート隊（金田小4年保護者）の感想 項目のみ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風が冷たく、雨が降ったり大変な日にもかかわらず子ども達は、本当に一生懸命ビラを配り署名を集めていました。</li> <li>・ 子ども達は、積極的に、ビラを配り、お店の方にもきちんと説明して、目立つところにはりつけてもらうことにしました。個人のお宅でも、お店、JA、会社など、一件ずつ訪問してとてもりっぱでした。きっと、尾上町のゴミが全部なくなる日も近いでしょう！みんながんばれ！」</li> <li>・ リーダーを中心に、どっちの道路をまわるか話し合っていたのでよいと思いました。暑い日も頑張っていました。学校開放日に途中の経路を見られたのも良かったです。子ども達は、ゴミの分別がきちんとでき、道路に、ゴミを捨てるようなことはしない。この気持ちを大事にしてほしいです。</li> <li>・ 2回目なのでかなりスムーズでした。グループとしてはとてもよい行動でした。</li> <li>・ リーダーが適切に指示していた。</li> <li>・ さすが4年生だけあって、和を乱すこともなく、みんなで協力しあってできたと思います。本当によくがんばりました。</li> <li>・ ひとつのことを力を合わせてやり遂げた時の感動はいつまでも大切にしてほしい。</li> </ul>
---

### 3 まとめ

柏木小と金田小の2つの小学校の児童と教師の意識調査を見てきたが、それぞれ総合的な学習に関して違いが見られた。

柏木小では、総合的な学習を大体好んでいるが、好みの程度は、金田小よりも低くなっている。柏木小はグループ活動を取り入れているため、意見がまとまらずに活動が低調になることもみられた。金田小では、個人やグループでテーマを探求した結果が興味や関心にあらわれている。金田小は、地域の色々な場所に出かける機会が多かったため、メモの仕方が身に付いている。柏木小はテーマを決めたり、自分で調べる意識が高いのに対して、金田小は、テーマを選ぶ意識が高かった。柏木小は、地域についての学習を継続していきたいという思いが強い。金田小では、自分たちの地域のことも大切にしながら、国際関係など興味の広がりがあった。

教師の意識調査では、柏木小の児童は、表現力など情報に関する力が身についたと考えているが、金田小では、追求力など様々な力が身についたと考えている。金田小では、地域の学習を深めたいと考えている教師も多かった。両校とも、教師は、児童が総合的な学習を好んでいると考えていて、児童の意識と一致している。また、総合的な学習を通じて学習したいことは、両校とも教師と児童で違っており、子どもの希望を把握し教材の開発に生かしていくことが重要となるであろう。

児童のふりかえりカードの結果において9月と10月の項目の自己評価・相互評価を比較すると、時間とともに感想の記述が具体的となり、また、地域の中で素材を探すことが主体的に追求され、協力性も高まっていることが示されている。

### 4 おわりに

総合的な学習のアンケートの結果、児童は総合的な学習に興味や関心を示しているとともに、教師も総合的な学習の時間で「生きる力」を育成しようとしている。

総合的な学習の時間では、地域のよさや地域の特色を生かしたものを教材化していくことが大切になる。金田小の4年生の「リサイクル大作戦」の活動を通して、児童は身近なものを教材にすることにより、ものの再利用ばかりではなく署名活動などを通して、思考を拡大しながら環境問題について考えることができた。

これからの課題であるが、アンケートも平賀町や尾上町ばかりではなく、青森県全体の様子を広範囲に把握するや細かなアンケートの分析も必要となる。教材の有効性をみるために

も、平賀町や尾上町での継続的な授業実践の累積化も大切である。

## 引用文献

- 1) 北俊夫(2002);「総合的な学習の教材開発」,明治図書, P P. 11.

## 参考文献

- 1) 平賀町立柏木小学校(2000);「平成12年度 研究収録 柏葉」,平賀町立柏木小学校, P P. 2.
- 2) 渋川良夫(2001);「小学校における総合的な学習と教科学習の関連についての研究」,弘前大学大学院 修士論文, P P. 37.
- 3) 渋川良夫(2001);「研究報告書10号」,弘前大学教育学部附属教育実践総合センター, P P. 79.
- 4) 尾上町立金田小学校(2001);「平成13年度 研究収録」,尾上町立金田小学校, P P. 106.
- 5) 山口満(1987);「実践教職課程講座第10巻」,日本教育図書センター P P. 115.
- 6) 羽賀敏雄,野呂徳治,田名場忍,小山智史(2002);「総合的な学習の時間と体験活動 一附属教育実践総合センター研究員の研究成果を踏まえた考察一」,弘前大学教育学部研究紀要クロスロード 第6号(通巻第46号), P P. 37~40.

資料 1

『総合学習』についてのアンケート

年 男・女

1 あなたは総合学習が好きですか。  
(1つだけ○でかこんで下さい。)

とても好き    まあまあ好き    ちよつときらい    きらい

2 それはなぜですか。

3 あなたが総合学習で、できるようになったと思うのは、どんなことですか。  
(あてはまるものを、いくつでもかこんで下さい。)

- ① 語の聞き方
- ② 質問の仕方
- ③ メモのとり方
- ④ 自分の考え・意見の表し方 (書き方、話し方)
- ⑤ 調べたことの書き方
- ⑥ その他

4 総合学習で、興味がやれたことは、どれですか。  
(あてはまるものをいくつでもかこんで下さい。)

- ① テーマをえらぶ
- ② テーマを自分で決める
- ③ 調べ方 (計画) を考える
- ④ 自分で調べ
- ⑤ 調べたことをまとめる
- ⑥ まとめたことをだれかにつたえる
- ⑦ つぎのテーマを考える

5 これから、どんなことを総合学習でやってみたいですか。  
(あてはまるものをいくつでもかこんで下さい。他にもあれば、その欄に書いて下さい。)

- ① よその国のくらしなどについて
- ② パソコンなどの情報のこと
- ③ 自分をとりまくかんきょうのこと
- ④ みんなの幸せなど福祉にかんすること
- ⑤ 金田や尾上可など自分の住んでいる場所にかんすること
- ⑥ その他

資料 2

総合的な学習についてのアンケート(教師用)

◎ 下記の項目についてご回答下さい。

1 本校の児童に総合的な学習で高めたい資質や能力についてご回答下さい。  
(一つを○で囲んで下さい。)

<回答するときの基準>

1 おおいに高めさせたい    2 高めさせたい    3 あまり高めさせたくない    4 高めさせたくない

① 「問題解決力・問題解決力」	1	2	3	4
② 「コミュニケーション能力」	1	2	3	4
③ 「表現力」	1	2	3	4
④ 「自己評価力」	1	2	3	4
⑤ 「学びあう共同意識」	1	2	3	4

2 総合的な学習を昨年度や今年行ってみて、どのような力が児童についていると思いますか。(自由にお書き下さい。)

3 本校の児童の総合的な学習についての意識について

① 本校の児童は総合的な学習についてどのように考えていると思いますか。  
(一つを○で囲んで下さい。)

とても好きである    好きである    ちよつときらいである    きらいである

② 本校の児童は、これから総合的な学習でどのようなことをやってみたいと考えていると思いますか。(自由にお書き下さい。)

資料 4

第 4 学年 総合的な学習 学習活動案 (本時の活動案)

日 時 平成 14 年 10 月 2 日 (水) 3・4 校時  
対象児童 尾上町立金田小学校 4 学年 6 8 名  
場 所 プレールーム

1 題材名 「リサイクル大作戦」(4/10)

2 目 標

- ・ 尾上町をきれいにする作戦を考え、計画が相手に伝わるように発表できる。
- ・ 他のグループの考えの良さに気づき、自分たちの考えを磨めることができる。

3 展 開

学 習 活 動	○評 価 *文 據
1 今日の活動の振り返をする。	
2 グループのめあてを持ち、大作戦の説明発表の準備をする。 ・ グループのめあてをきめる ・ 各町会ごとのグループで集まって打ち合わせをする。	○グループごとのめあてをもつて意図的に発表の準備をしているか。 →表情・話し合い * 発表の観点(工夫しているか、分かりやすいか、声が大きいかなど)を考え、順序だてて目える巡回し、助言する。
3 大作戦の計画を立てる ・ グループのめあてを発表する ・ 町会ごとのグループでの説明をする。	○相手に伝わるようにわかりやすく発表しているか。 →発表
4 感想(いいところ、アドバイス質問など)を発表する。	○他のグループのよさに気づくことができたか。 →発表 * よさに気づけなかったら、教師が評価してあげ、次時の活動に意欲を持たせる。
5 本時の活動を振り返る ・ カードに記入をする。 ・ 感想を発表する	○ 次の活動に意欲を持っているか。 →表情 発表 振り返りカード

資料 3

のびのびふりかえりカード

年 組 番 氏名 ( )  
こじん グループ

めあて	◎ ○ △
進んで	◎ ○ △
協力	◎ ○ △
マナー	◎ ○ △

今日の感想(うまくできたこと、できなかったこと)

友達のいいところ

先生から